

認定調査票記入方法

注意点

1. 必ず黒ボールペンで記入してください。
提出された調査票は機械で読み込むため、下書きはきれいに消し、調査票に消しゴムのカス等が残らないようにお願いします。
2. 修正や削除を行う場合は、修正液・修正テープを使用しても構いませんが、消し残しが無いようにきれいに消してください。
3. 専門用語や略語は使用せず、誰が読んでもわかりやすい表現で記入してください。

概況調査（1枚目）

I 調査実施者（記入者）

●実施日時

調査した日時を西暦で記入してください。

●実施場所

該当箇所にチェックし、自宅外の場合は調査場所を口内に記入してください。

●調査者番号

調査員番号を右づめで記入してください。

III 現在受けているサービスの状況について

●在宅利用

○介護保険による在宅サービスについて、認定調査を行った月のサービス利用回数を記入してください。

○福祉用具貸与は調査日時点の、福祉用具購入は過去6月の品目数を記入してください。（該当がない場合は空欄のままにしてください。）

○住宅改修については、過去に行ったことがあれば該当する箇所にチェックしてください。

○「市町村特別給付」又は「介護保険給付以外の在宅サービス」を利用している場合については、その名称を口内に記入してください。

注意点

※住宅改修だけが「あり」の場合でも、サービスの状況は「予防給付サービス・総合事業」か「介護給付サービス」にチェックしてください。

※介護老人福祉施設・介護老人保健施設・介護医療院に入所している、又は医療機関等へ入院していて、在宅サービスを受けていない場合は、「なし」にチェックして

ください。

●施設利用

施設入所・病院入院の場合は、該当する箇所にチェックしてください。

基本調査（2枚目・3枚目）

●調査日

西暦で年月日を記入してください。

注意点

※チェックを間違えた場合、修正液等で修正して構いません。消し残しがあると機械で読み込む際エラーになるので、間違えたチェックの枠ごと消してください。

特記事項（4枚目以降）

●特記事項は上下の■の内側におさまるように記入してください。

・第3群の記入について

●選択肢1)以外を選択した場合は、必ず特記事項に選択理由を記入してください。

・第4群の記入について

1. ない→（特記事項に記入しなくてもよい）

○問題となる行動が（過去に1回以上あったとしても）過去1ヶ月に一度も現れたことがない場合。

○ほとんど月1回以上の頻度では現れない場合。

○意識障害、寝たきり等の理由により、その問題となる行動が現れる可能性がほとんどない場合。

2. ときどきある→（特記事項に記入）

○少なくとも1ヶ月に1回以上の頻度で現れる場合。（月1回～月3回）

3. ある→（特記事項に記入）

○少なくとも1週間に1回以上の頻度で現れる場合。（月4回以上）

※特記事項には、「その症状や状況」「頻度」「その行動が介護の手間になっているか（なっていないか）」を記入してください。

※「頻度」の記入について

✕「ときどきある」「たまにみられる」等あいまいな表現では判断できません。

○「月に1・2回」「週に2・3回」「週に1回は1日に何度も繰り返して…」等具体的に記入してください。

・第5群の記入について

●選択肢1)以外を選択した場合は、必ず特記事項に選択理由を記入してください。

・第6群の記入について

●14日以上前に受けたものであっても、現在の介護状況に影響を及ぼすと考えられるものについては、チェックは入れずに特記事項に記入してください。

・第7群の記入について

●認知症高齢者の日常生活自立度については、選択した理由又は気づいた点を記入してください。

・その他

1. 調査の項目には当てはまらないが、特記しておきたいことが他にありましたら、特記事項の欄に記入していただいで構いません。
2. 調査対象者の主訴、家族状況、調査対象者の住居環境（外出が困難になるなどの日常生活に支障となるような環境の有無）、日常的に使用する機器の有無等について特記すべき事項を記入してください。